

Science Tokyo 東京科学大学 INDESTが拓く量子の未来シリーズ 第3弾

# 量子コンピュータの現在地と 未来に向けた跳躍

量子技術が研究から社会実装へと確かな歩みを進める今、2026年は量子コンピュータ産業化にむけ、さらなる展開が期待されています。本イベントでは、2025年の量子工学や産業動向を総括しながら、2026年の実装フェーズに向けて「鍵」となる 技術、ユースケース、人材、産官学連携 の視点から議論を深めます。

## 2026.2.25 WED

14:00-16:30 (開場13:30-)

## INDEST



参加無料・要登録  
Peatix



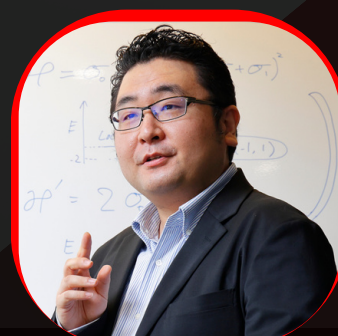
ハイブリッド開催



ネットワーキング  
会場参加のみ 15:45-



主催 東京科学大学  
イノベーションデザイン機構 INDEST  
共催 株式会社Jij  
協力：国立研究開発法人産業技術総合研究所  
量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター (G-QuAT)  
(一社) 量子技術による新産業創出協議会  
後援：港区立産業振興センター



田中 宗 氏  
慶応義塾大学 教授



益 一哉 氏  
G-QuAT センター長



門脇 正史 氏  
G-QuAT/株式会社デンソー



山城 悠 氏  
株式会社Jij CEO

Jij

産総研 G-QuAT

Institute of  
SCIENCE TOKYO  
Center for Innovation Design

Q-STAR

<https://www.idp.ori.titech.ac.jp/venture@cim.isct.ac.jp>

東京都港区芝浦3丁目3-6  
東京科学大学田町キャンパスINDEST4F

